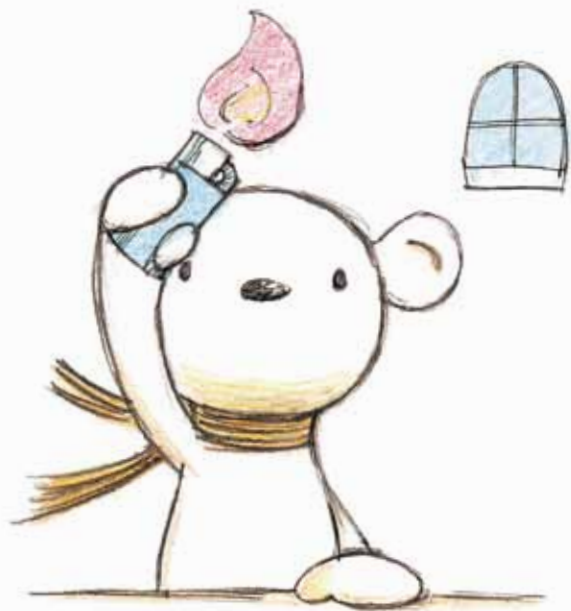


旧式ライターは 今すぐに捨ててください!

ライターの火遊びによる火災死亡事故が連続した事態を受け、2011年9月27日以降、子どもが簡単に火をつけられるライターは販売中止となり、今は、子どもでは火をつけられない安全なタイプのライターとなっています。もし旧式ライターが家に残っていたら、危険ですので廃棄してください。



＜ 使い切りライターの捨て方 ＞

川崎市では、使い切りライターは「普通ごみ」として収集しています。必ずガス等を使い切ってから出すようにしてください。もしガスが残っているうちに不要となった場合は必ずガスを抜いてから廃棄してください。

「子どもの事故を予防するために」

こどもの事故予防 (日本赤十字社)
<http://www.jrc.or.jp/study/safety/house/index.html>

日本小児科学会 Injury Alert (傷害注意速報)
<http://www.jpeds.or.jp/alert/index.html>

日本中毒情報センター (財団法人 日本中毒情報センター)
<http://www.j-poison-ic.or.jp/homepage.nsf>

チャイルドシートQ&A (神奈川県警察)
<http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesf2012.htm>

京あんしんこども館 (京都市子ども保健医療相談・事故防止センター)
<http://www.anshinkodomokan.jp/index.html>

「いざという時のために」

かわさきのお医者さん
<http://www.qq.city.kawasaki.jp/>

川崎市救急医療情報センター
044-222-1919 (24時間対応)

かながわ小児救急ダイヤル (毎日18時～24時)
市外局番が042以外のプッシュ回線、携帯電話で利用する場合
#8000

ダイヤル回線、IP電話、PHS等
または市外局番が042のプッシュ回線で利用する場合
045-722-8000

こどもの救急
<http://kodomo-qq.jp/>

中毒110番 電話サービス
つくば中毒110番 (365日 9時～21時対応 無料)
029-852-9999
<http://www.j-poison-ic.or.jp/homepage.nsf>

事故が起きたら「ヒヤッ」としたら

あなたとお子さんが体験した事故や
「ヒヤッ」とした経験をお寄せください。

川崎市ではお寄せいただいた体験や情報を調査・分析し、再び同じ事故が起こらないようにするためにはどうしたらよいかを検討します。あなたの体験、あなたの勇気が、川崎の子どもたちを事故から守ります。

メールアドレス: ○○○@○○○.○○○

QR
コード

こんな事故が 起きています

— 川崎市 子どもの事故予防 —



発行 川崎市市民・こども局こども本部 こども家庭課
企画・制作 Safety Kids いずみ / イラスト 久保田 修康 2012年3月31日

3ヶ月前後の赤ちゃんに

起こった事故とその予防



ファッション通販カタログのビニール包装が、子どものベッドに入り込んでしまったみたいなんです。目を覚ました子どもが手足を動かしているうちに、ビニール包装が顔に貼りついてしまいました。

タオルケットや毛布による窒息の危険は広く知られていますが、雨の日の新聞やDMなどが入れられているビニール包装、熱を下げるための冷却用シートなども要注意。鼻や口がおおわれると、赤ちゃんは呼吸ができず窒息してしまいます。5ヶ月頃にならないと赤ちゃんは顔に付いたものを払いのけられないので、それまではビニール包装等が赤ちゃんの顔をおおうことのないよう、寝かせる周囲を整理してください。



子どもを実家の母に預けて車で出かけました。母が子どもを抱っこして家に戻ろうとしたところ、駐車場の車止めにつまずいてしまったんです。子どもは投げ出され、駐車場のコンクリートに落ちてしまいました。

転びそうになったり、倒れそうになったりしたとき、人間は反射的に手を出して身体を支えます。しかしそれができるようになるのは8ヶ月頃以降。それまでは赤ちゃんは自分を守るために手を出さず、屋外で赤ちゃんを抱っこするときは、必ず抱っこ用のひもなどを使うようにしてください。

1歳6カ月前後の子どもに

起こった事故とその予防



私のご飯を作っている間に子どもが浴室に入ってしまったんです。昨夜遊んだおもちゃが浴槽に浮かんでいるのを見つけて、それを取ろうとしたんですね、きっと。浴槽の中に落ちて溺れかけてしまいました。

子どもは頭が重いので、浴槽の縁に身体を押つけて手を伸ばし、おもちゃを取ろうとすると、浴槽の縁がてこの支点になって頭が下がり、足は浮いてしまいます。するとあっという間に浴槽内に落ちて溺れてしまいます。浴室のドアを開けている時は、お子さんが保護者の方の「目」ではなく「腕」が届く範囲にしておくようにしてください。



いつもはあめは与えていないのですが、車内でぐずりだしたので、子どもが大好きな丸いあめを子どもの口に入れました。でもその直後、前の車が急ブレーキをかけたので私も慌ててブレーキを強く踏んだら、その拍子にあめが子どもの喉に詰まってしまいました。

あめはゆっくりなめていれば段々と小さくなるので、基本的にはあぶないものではありません。でも車が急停車すると「はっ!」と息を飲むので、あめが喉の奥に吸い込まれてしまいます。びっくりしたときも同じことが起きます。そうなるとなかなか取り出すことができず、窒息する可能性があります。丸いものを食べさせるときは静かに座って食べさせましょう。電車や車などの中では与えないでください。

3歳前後の子どもに

起こった事故とその予防



団地の3階に住んでいます。子どもがぐっすり昼寝をしていたので、ゴミを出しにきました。そうしたら子どもが目を覚まして…ベランダから身を乗り出して私を呼ぶので、びっくりしました。

目を覚ましたときママがいないのでベランダに出てみたけれど、柵の間からはママの姿は見えません。そこで植木鉢に乗って柵の上に身を乗り出したのです。浴槽の場合と同じく、ベランダの縁がてこの支点になって頭が下がり、足は浮いてしまいます。するとあっという間に転落します。ベランダには足がかりとなるような植木鉢や踏み台は置かないようにしてください。エアコンの室外機などもベランダの柵から十分離すようにしてくださいね。



アロマキャンドルが好きでよく使うのですが、子どもがさわると大変なのでいつも柵のいちばん上に置いています。ところがある日、子どもの手が届いてしまい、服の袖に火が付いてしまいました。

子どもは「昨日までできなかったことが今日ではできるようになる」ということがあります。また、炎が服のすそやそでぐちについて燃え上がることがありますので、子どもの服、特にパジャマは身体にフィットしたデザインのもの、そしてオーガニック・コットンなど、燃え上がりにくい素材のものを選びましょう。